

こんな時どうする？

問題点	原因	解決策
電源ボタンを押しても作動しない、ランプ点灯しない	アダプタが適切に接続されているか アダプタの破損	アダプタを正しく接続する 販売店・メーカーへ問い合わせください
洗浄しても汚れが落ちない	洗浄時間が不足している 適切な量の洗剤を入れていない ※洗剤が必要な場合	洗浄時間を延長する 適切な量の洗剤を入れる

洗浄時間の目安

洗浄時間	洗浄できるもの
30秒以下	・宝石 ・ふち無しガラスレンズのメガネ
60秒～120秒	・メガネ（ふち有り）・金属製身具 ・入れ歯 ・歯ブラシ ・くし ・万年筆のペン先 ・電気カミソリ刃（内刃、外刃）
180秒～300秒	・バリカン刃 ・腕時計の金属バンド ・ナイフ ・フォーク ・缶切り ・印鑑 ・パイプ

※上記は洗浄時間のめやすです。過度に洗浄すると、洗浄物が破損する場合もありますのでご注意ください
※万一、洗浄物に不具合が生じてもその責は負いかねます。

- 歯石、歯垢、黄ばみ、黒ずみ、たばこのヤニなどがついた入れ歯の汚れは洗浄しても落ちないことがあります。
- 入れ歯に固着した安定剤は洗浄しても落ちないことがあります。
- 金属や貴金属の変色、錆は洗浄しても落ちません。
- 樹脂製のメガネフレームを洗浄すると表面が白くなったりつやがなくなったりします。その場合は、乾いた布で強く拭いていただければ元にもどります。（ただし、キズ、ワレなどがある場合は元にもどらないことがあります）
- メガネのレンズがプラスチック製の場合、ヒビ、キズなどが入っていると洗浄後レンズが白くもり、布で拭いても元にもどらないことがありますのでご注意ください。
- 劣化の進んだ（キズやはがれなどがある）・メッキ及び塗装のあるメガネフレームなどは洗浄しないでください。メッキ・塗装はがれる原因となります。

※ 過度の洗浄により刃こぼれすることがあります。充分ご注意ください。特にネット（外刃）は長時間洗浄しないでください。

5

保証書

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書をご購入時のレシートを添えてご持参ください。

- 製品名 RO-□ 超音波洗浄
- 保証期間 販売日から1年間

●お客様名・ご住所

●販売店印・ご住所・ご担当者名

- 右記に記載しております保証規定を必ずお読みください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。保証書の再発行は致しません。お買い上げ日・販売店名を確認できる領収書などと一緒に保存してください。
- 本製品の故障またはその使用上生じた、直接・間接的な損害については、当社では責任を負いかねます。

<無償修理規定>

取扱説明書などの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。
（イ） 無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書とご購入時のレシートを添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ） ご転居や贈答品などでお買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合、お客様相談窓口にご相談ください。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- （イ） 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- （ロ） お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
- （ハ） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災事変及び公害、塩害、カス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- （ニ） 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- （ホ） 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
- （ヘ） 本書のご提示がない場合
- （ト） 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

本書は日本国内においてのみ有効です。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

6

安全上の注意

本製品をご使用前に必ず本書をよくお読みください。

- 本取扱説明書には正しく安全にご使用頂くための方法と安全上のご注意を記しています。ご使用前に必ず全ての内容をお読みいただき、今後のために大切に保管してください。

- ・水を入れる前に電源を入れしないでください。
- ・水槽の中の規定の線を越えないでください。
- ・感電を防ぐために濡れた手でコンセントに触れたり、コードを引っ張ったりしないでください。
- ・感電を防ぐために製品全体を水で洗わないでください。（水槽部分のみ防水）
- ・連続で使用する場合は3分間あけてから使用してください。
- ・コードは専用コードを使用してください。
- ・重い物をのせしないでください。変形する恐れがあります。
- ・本体が浸水してしまった場合は、電源を入れしないでください。感電や故障の原因になります。
- ・製品を使用している途中で異臭や異音があった場合はすぐに使用をやめてください。
- ・100V以外の電源を使用しないでください。
- ・電源使用が異なる国で使用すると作動しなかったり、故障の原因になります。
- ・高温（60度以上）・低温（10度以下）の水を使うと故障の原因になります。
- ・傾斜した場所では使用しないでください。故障の原因になります。
- ・清潔で十分にスペースのある場所で作業してください。
- ・コードが引っ掛かったりしないよう、整理整頓されたところで使用してください。
- ・ご使用前に破損や故障がないか確認してからお使いください。
- ・破損したプラグやACアダプター、落としたり何らかの損傷を受けた機器は使用しないでください。
- ・スイッチを入れても始動及び停止ができなければ使用しないでください。
- ・機器の修理は販売店にお問い合わせください。絶対に分解したり改造はしないでください。
- ・使用中、湿気・ほこり・直射日光があたるところは避けてください。
- ・本製品を本来の目的以外で使用しないでください。
- ・本来の目的以外の不適切な使用は人体や本体の損傷の原因になります。
- ・電源プラグはコンセントの根元まで差し込み、抜くときは電源コードではなくプラグを持って抜いてください。
- ・お子様や意思表示が困難な方に使わせたり、乳幼児の手が届くところで使用しないでください。
- ・ペースメーカーなど体内に機器を装着されている方は、本製品をご使用にならないでください。
- ・発火性、引火性のある液体を使用しないでください。
- ・連続して使用しないでください。
- ※ 連続使用した場合、過熱防止の保護回路が動き停止することがありますが、その場合は電源プラグをコンセントから抜いて、10分以上休止し、冷えてから使用してください。
- ・傷んだ電源コードや電源プラグは使用しないでください。
- ・水道の蛇口から直接水を入れずに、コップなどを使用して水を入れてください。
- ※ 本体や電源スイッチ部分に水がかかると故障の原因になります。
- ・洗浄水に消毒や滅菌などの薬品や、酸性の溶剤を使用しないでください。
- ・真珠など表面硬度が比較的柔らかいものは絶対に洗わないでください。
- ・宝石のついたアクセサリーを長時間洗わないでください。
- ・ふち無しのレンズのメガネを長時間洗浄しないでください。
- ・火気の近くや直接日光の当たるところに置かないでください。
- ・落としたり、強い振動を加えないでください。

1

各部名称



01 ランプ 02 機能ボタン 03 コントロールパネル 04 洗浄用ホルダー

05 本体カバー 06 洗浄槽 07 本体 08 脚 09 滑り止め

注：上の写真はイメージです製品の外觀とは異なる部分がございます。

お手入れ方法

<水槽の洗い方>

- ①電源コードを抜き、電源スイッチやコネクター、表示部に水がかからないように、洗浄槽の水をすべて抜きます。
- ②水槽の半分位までコップなどできれいな水を入れてください。柔らかいスポンジなどで洗った後、すすぎ洗いでください。
※汚れがひどい場合は中性洗剤を1、2滴たらして洗うと効果的です。
- ※スポンジ等の表面が固いもので洗うと洗浄槽にキズがつくことがありますのでご注意ください。
- ③洗浄後は再度きれいな水でよくすすいでください。

<注意>

- ※ 中性洗剤などをご利用された場合は洗剤が残らないよう念入りにすすいでください。
- ※ 洗っている時に、電源スイッチや接続部に水がかからないように注意してください。
- ※ 水につけて丸洗いはしないでください。
- ※ 水道水を流しっぱなしで洗わないでください。
- ※ ※ 本体の内部に水が入ると回路が不良となり感電や火災の原因になります。

<本体の掃除方法>

- ① 洗浄槽を洗い終わったら、水にひたした柔らかい布をよくしぼってよく拭いてください。
- ② 拭いた後、かわいた布でから拭きしてください。

2

洗浄できるもの

	事務用品 定規・筆・ハサミ等
	日用品 歯ブラシ・剃刀等
	食器 金属製の食器等
	めがね サングラス・近視/老視めがね等 注：めがねを洗浄する場合はレンズを上向きにする (レンズに傷がつく恐れがございます)
	アクセサリー 指輪・ネックレス・ブレスレット・イヤリング等 注：真珠など表面硬度が比較的柔らかいものは絶対に洗わないでください (欠けたり傷がつく恐れがございます)

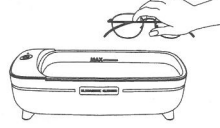
洗浄できないもの

種類	具体例
● 表面硬度が柔らかい宝石類	● ペーパー・真珠・エメラルド・オパール・翡翠・珊瑚・象牙・コハク・石材等
● 接着、接合した宝石類	● 腕時計本体（防水型を含む）
● キズやヒビ割れのあるもの	● 上記宝石の付いたアクセサリー・メガネ
● メッキや塗装加工が劣化しているもの	● コンタクトレンズ
	● 印鑑（木製）
	● 偏光レンズ付サングラス

3


使用方法

洗浄をはじめる前に、必ず『洗浄できるもの・洗浄できないもの』を十分に確認してご使用ください。



1


本体のカバーを開け、洗浄したいものを静かに洗浄槽内に入れてください
注：メガネを洗浄する場合は、レンズを上向きにする（レンズに傷がつく恐れがございます）
注：水を入れない状態で作動させた場合、故障する恐れがございます



2


規定の線を越えないでください

水と洗浄したいものを入れ、本体カバーを閉じます
注：水を入れる際、規定の線（MAX）を超えないでください
注：アクセサリーなどの小物を洗浄するときは付属の洗浄用ホルダーを使用して洗浄しますと出し入れに便利です




3

電源コードを差し込みます
注：器具用プラグは本体をしっかりと手で押さえて、奥までしっかりと差し込んでください。奥まで差し込まないと電源が入りません
タコ足配線はしないでください



4

スイッチを押すと洗浄が開始されます
ワンクリック：金属洗浄モード（青ライト） 180秒
ダブルクリック：非金属洗浄モード（紫ライト） 300秒



5

洗浄後は電源を抜き、本体カバーを開け、洗浄したものを水洗いしてください
注：洗浄後は本体の中の水を捨て、洗浄槽内を軽く拭き、よく乾燥させてください
カビや水垢等の発生の原因となります
注：一度使用した水は必ず捨て、毎回新しい水と交換してください

4